

課題歌「月」

「一 席」

- 七、 病む牛にと薬師様の水汲めば手桶の中に月ゆらいてる
三三、 稲刈りを終えて清しき月明かり真白きわらに煌く夜露
三七、 木々の間を透きて月光守りしか迷ひし二歳児無事母の手に

堀 甲枝

滝上 一恵

西野 絃子

「選者推薦」

- 二、 友の辺に命捨つると決めし尾根松^{まつなみ}濤岩を月光照らす
二〇、 銭湯の帰りについてきてくれし月かも知れぬ母と眺むる

西 春彦

横山 美保子

自由歌

「一 席」

- 四、 難聴はさほど支障の無けれども虫の音雨音聞けぬさみしさ

豊田 正己

「二 席」

- 三一、 縫うことを生業とした母は逝き裁縫台に遺るゆびぬき

尾崎 清美

「三 席」

- 一八、 改札を下りくる人を待ち乍らふと思ひ出す啄木のうた
三二、 目覚むればブルーマウンテンの香りしぬ「犬も食はぬ」か昨夜の諍ひ

坂田 壽美子

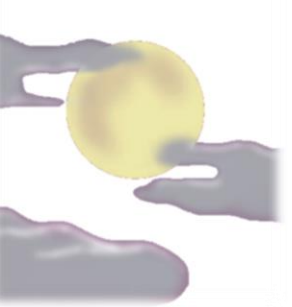
小林 伸子

「選者推薦」

- 四〇、 旅先の夫は好い人装ふかカチンと来ること一度もなくて
四一、 ゆうすげの淡いきいろを手折りきてとりわけ君を想う七月

広瀬 亮子

中屋 妙子



「飛驒神岡高校」 入 選

月明りに照らし出されたノートには溢れた心の言葉が並ぶ
とぼとぼと帰る私を月照らす 「応援してるよ泣いてる君を」と
もうすぐで夜が明けてくる山の月よ今日も一日努力します

三年 小曽 都
一年 井上 愛理
一年 下堂前 聡



「吉城高校」 入 選

嫌なこと月に向かって打ち明ける私の大事な空の相談所
満月や欠けたるものは何も無くまあるい顔で今宵も光る
夕暮れに椅子に腰かけ小説を読み終えた後の空の新月
欠けている三日月見るとホッとする支えられてる自分のよう
形変え今日の三日月人のよう悲しくもあり滑稽でもあり
「満月だ」さっきも聞いたよその言葉家族みんなが報告し合う

一年 岩 愛子
一年 築山 凛
一年 西村 侑真
一年 野村 彰希
一年 船坂 梓温
一年 森下 明音

